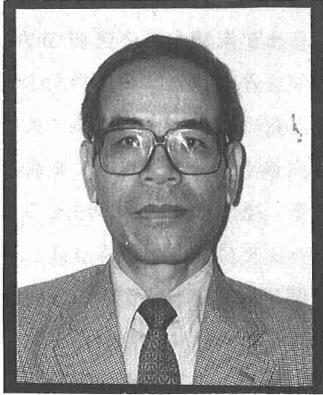


計 報

木村 登事務長補佐



理学部事務長補佐（総務担当）木村登氏は去る4月9日卒然として他界されました。享年54歳でした。

同氏は、昭和35年7月東京大学庶務課に奉職され、学務課、人事課を経て、昭和43年5月宇宙航空研究所人事掛長に昇任、昭和50年4月庶務課文書掛長、昭和52年4月文学部庶務掛長、昭和56年4月施設部企画課庶務掛長、昭和60年8月海洋研

究所総務課庶務主任、平成元年4月現職に昇任、この間29年余の長きにわたり本学のため尽力されました。

同氏は、誠実でかつ周囲に対し暖かい思いやりのあるお人柄であり、なによりもユーモアのある話しぶりなどから学内では広く上司、同僚から「トウさん」の愛称で親しまれておりました。

理学部に着任してからは上記のような多彩な経歴と幅広い知識に基づき職務に精励され、理学院計画や技官の組織化等の検討を進めるにあたり、調査、資料作成など事務的な業務を中心となって遂行されました。

この度、まったく突然に病魔におそわれ、これからの活躍が期待されておりましたときに同氏を失ったことは、理学部にとって掛け替えのない損失であり、誠に痛恨の極みであります。

ここに追悼の意を表し、謹んでご冥福をお祈り申し上げます。（理学部）

木村 登氏を悼む

久 城 育 夫（理学部長）

理学部事務長補佐の木村登氏が急病で急逝されたことを聞いた時、その前々日の夕方には全く変わりなく私と話されていた姿を思って耳を疑った。しかし、それが本当と分かって非常に驚くとともに深い悲しみにおそわれた。私は木村さんとは、昨年1年間企画委員会の審議事項について相談する機会が多かった。また本年4月に学部長に就任してからは、事務長も代わられたこともあって、理学部の事務上の諸事について色々と御教示

いただいていたので、この突然の悲報は大変なショックであった。

木村さんは、昨年度は野島事務長を文字どおり補佐して庶務関係の業務を一手に引受け、理学部事務の中心的存在として活躍された。また、技官問題検討小委員会および理学院計画委員会の事務・技官組織検討小委員会で、田沢委員長を助けて両委員会の審議の進行に多大の貢献をされた。この3月からは技術職員組織化の具体案の作成にも

お骨折りをいただいていた。私達は事務長と学部長が交代しても、実績と手腕のある木村さんが居られる限り、支障なく事務業務が引継がれると安心していた。そして多くの課題を抱えた理学部において、木村さんはこれから益々活躍されると誰もが期待していた。

木村さんは非常に誠実かつ勤勉な方で、私達は木村さんのお仕事に全幅の信頼を置いていた。木村さんはまた、部下の人達の面倒見がよいため特に若い人達の信望が厚く、色々と相談を受けておられた。大変明るく、はっきりと物を言われる実に気持ちのいい方であった。聞くところによると、

木村さんは家庭菜園をやっておられ、そこで収穫した野菜をわざわざ大学まで持って来て、夕方には自らそれを料理したり、手打ちうどんを作ったりして事務の皆さんに御馳走されたそうである。今年の正月には理学部で初めて餅つきを企画され、自分で臼や杵を借りて来て実行され、1号館の人達に大変好評であったと聞いている。このように木村さんは理学部の親睦を図ることに努力されていた。

理学部として、本当に惜しい方を失ったことに痛惜の念を禁じ得ない。謹んで御冥福をお祈り申し上げます。

事務長補佐木村登さんを偲んで

小 谷 昭（元理学部中央事務）

木村さんの突然の訃報を午後の執務時間に受けた時、全くといっていい程信じられなかった。すぐさま理学部まで出向いて行った。今にもご自分の机に戻ってこられるのではないか、そんな気がしてならなかった。3日前には4月の人事異動による歓送迎会で一緒に飲んだし、翌日の土曜日には出勤していた姿を見ている。しかし、今はもういない事実を知った。無念でたまらなかった。

木村さんは昨年4月に海洋研究所から理学部に着任し、私が今年4月に応用微生物研究所へ転出したため木村さんとの仕事上でのお付き合いは僅か1年の短い期間でした。その間、仕事のみならず人生、社会全般にわたる種々な事柄についてご教示、ご指導を賜わったのは決して私だけではあるまい。常に廻りの者への気配りに重きを置き、人の和の大切さをそれとなく我々に説いていたことも木村さんの篤実さの露われだと思う。

昨年の暮れには1号館中庭で餅つきを催した。

これは木村さんの発案によるものであった。杵をつき、こね取りをし、つきたてのやわらかくておいしい餅を口にした教職員、学生達と楽しいひとときを過した。始めて杵をついた方々も多勢のことであろう。今までには見られなかった木村さんのお人柄が偲ばれる企画であった。

スキーを好み、水泳を楽しみ、日本の美術にも深い造詣をお持ちで特に歴史に係る美術に興味がおりのようでした。

海洋研究所在任中に胃の大部分を切除したと聞いている。あまり無理をなさらなければと思いつつ多忙な日々を重ね、しかも己の仕事を全うしているお姿を見るにつけその責任感の強さには常々敬服する次第でした。そんな木村さんが突然仕事半ばで逝かれ、さぞかし心残りであったろうと推察いたします。

ここに木村さんの在りし日を偲び、謹んでご冥福をお祈り申し上げます。

菊池三恵子文部事務官



理学部天文学教室に勤務の司書菊池三恵子さんは、去る3月16日に当教室図書室においてワープロ入力中に、突然、心臓発作で倒れ、直ちに東大病院救急部に運ばれましたが、意識を戻すことな

く逝去されました。享年48歳であります。

菊池三恵子さんは、昭和42年1月事務補佐員として当教室に勤務し、昭和44年8月事務官へ配置換になり、業務は一貫して天文学教室図書室の整備、充実、能率化に携わってこられました。

特にこの数年間は、図書業務の機械化へ意欲的に取り組んで、講習会などへ積極的に参加し、新知識を吸収し、当教室の、教室規模としては過分に膨大な冊数の図書のパソコンへの入力などに専念しておられました。

それが全く突然の死に仕事半ばで倒れられ、さぞかし無念であったろうと推察いたします。

ここに謹んで冥福をお祈り申し上げます。

(理学部)

菊池三恵子さんを悼む

堀 源一郎 (天文学教室主任)

菊池三恵子さんが去る3月16日、図書室で勤務中に急逝されてから早くも3カ月になる。図書室の一隅の作業機の周辺もすっかり片づけられて、何か空しい気配である。

菊池さんは昭和42年1月に天文学教室に勤務を始めて、以来23年2カ月の長きにわたって、図書室の諸業務、すなわち図書の受入れ、分類、目録、配架、貸出などに熱意と愛着を込めて携わってこられた。その長年の尽力の甲斐あって、天文学教室図書室は今日の整備と充実を見るに至ったのである。

特にこの数年間は、図書業務の電算化へ意欲的

に取り組んで、講習会にも積極的に参加し、新知識を吸収し、当教室の、教室規模としては過分に膨大な冊数の図書のパソコン入力などに専念されていた。

それが突然の死に仕事半ばで倒れられ、さぞかし無念であったろうと推察する次第である。謹んで御冥福を祈る。

追記

菊池三恵子さんの急逝に際しまして、何かとお力添えを下さいました理学部の多くの方々に、この紙面をおかりして厚く御礼を申し上げます。

菊池三恵子さんを偲んで

中 田 好 一（天文学教室）

天文学教室司書菊池三恵子さんの急逝の報に接したのは、岡山天体物理観測所に滞在中、観測を終え、宿舎にもどってきた時であった。あまりに突然の事でわかには信じられなかった。御冥福を心からお祈りする。

菊池さんの人柄は解放的で明るく、親身になって他人の世話をみた。教室の大学院生にとり姐御的存在として、良き相談相手の役割を果たしていた。教室外にも広い友人の輪を持ち、キクチコネクションの助けで成功した事柄は数多い。彼女はまた料理も巧みであり、菊池邸で開かれる集まりは、夫妻の豊富な話題と共に、その夜何が出てくるかも大変な楽しみであった。

菊池さんは司書のサービスということについては、実に深く考えていた。教室図書室の果たすべき任務は何かという意識が常に念頭にあったようである。天文学文献の少ない他研究室からのコピー依頼、何を捜すべきかもはっきりしない状態での検索相談等に強い責任感を持って取り組んだ。東大に求める文献が無い場合も、そこで「ありません。」と言って止めることはせず、国立天文台、京都大学、東北大学へと探索を広げた。「国会図書館で見つけたわ。」と嬉しそうに語った笑顔は忘れられない。

そのように徹底した図書館サービスと共に忘れられないのが同じ位に厳しい返本督促であった。教室図書係でありながら返本成績の悪い私は不良利用者代表としてしばしば彼女に叱責された。何度叱られても我々の滞納癖は改まらなかったが、彼女は驚異的な忍耐を持って督促を繰り返してくれた。その愛情ある眼で天文学教室図書室の全体をよく見ており、図書室を常に利用しやすい状態に保っていた。卒業生が教室を訪れるときには、

必ず図書室に立ち寄り菊池さんとの会話を楽しんでいったのも、彼女の暖かい人柄と司書としての厳しい信念が多くの人に敬愛されていたからである。

昨年の秋一時病に倒れたが、復帰してからは図書室の整備計画、検索用端末の導入等、夢の実現に向けて一步一步着実に進み始めていた所であった。菊池さんの思い描いていた理想の図書室がどんなものであったのか、我々には永遠に知る機会が失われた。それにもまして、もはや図書室で菊池さんの明るい笑い声に接せられないのは悲しんでも悲しみ切れるものではない。菊池さんの魂が今も変わらずに温かな目で我々を見守っていて下さるのを祈っている。